



猫を飼いたいという多くの来場者で賑わいました



良い飼い主に出会いたいニャー

豊中のらねこ ニャンとかししよう作戦 2017

とよなか猫のかぎしっぽ



事業概要

野良猫の不妊手術の必要性と方法、無責任な餌やりをしないことなど、地域住民の協力のもとに情報発信します。また、捕獲協力により、地域環境を改善し、住民間の対立を解消します。

助成予定 100,000 円

TNR という言葉をご存知でしょうか。T はトラップ（捕獲する）、N はニュートン（元の場所に戻す）、R はリターン（不妊手術）、R はリターン（元の場所に戻す）。増えすぎた野良猫を捕獲し、不妊手術をしたうえで元の場所に戻す活動のことです。

繁殖力の強い猫は、不妊手術を行わずに餌を与えているとどんどん増えていきます。野良猫が増えすぎると、猫の糞尿や鳴き声などで環境が悪化し、迷惑だと感じる人もいます。また餌を与える住民と、迷惑と感じる住民との間でのトラブルの原因にもなります。そこで、とよなか猫のかぎしっぽは、地域の環境を改善し、住民間のトラブルを解消することを目的に TNR 活動を行っています。

9月3日(日)には、この活動により保護された猫の譲渡会が行われました。この日集められた保護猫は、成猫から子猫まで約20匹。

会場となった猫Café Calm カフェカーム（中桜塚）は多くの親子連れやカップルなどで賑わいました。

インターネットで譲渡会を知ったという家族連れは、「保護された猫と、猫を飼いたいと思う飼い主を繋いでくれています。保護猫を知ることのできる方をお知らせできれば、と飼い主が決まりました。

代表の渡邊亜希子さんは「野良猫のトラブルは本質的には人と人の関わり方が原因となっていることが多い。地域から孤立した独居高齢者などがその寂しさから無責任な餌やりを始めてしまう例があります。私たちは野良猫の TNR を介して地域問題の解決に少しでもお役に立てれば、と考えています」。

保護猫の譲渡会は毎月2回開催。秋が深まる10月からは、捕獲活動がピークを迎えます。